

特 許 公 報

昭37-9408

公告 昭 37.7.26 出願 昭 35.12.28 特願 昭 35-50965
 出願人 発明者 野 島 武 夫 川崎市小杉町1の542
 代理人 弁理士 高 橋 登 外1名

(全2頁)

エレベーター枠の移動装置

図面の簡単な説明

第1図は本発明実施の一例を示す全体の斜面図、第2図は要部を拡大した同側面図、第3図は特殊車輪の縦断面図である。

発明の詳細な説明

本発明は家屋の側にエレベーター枠を取付け該枠の下面に取付けた車輪で家屋の側面に敷設した軌条上を転動せしめて移動すると共にエレベーター枠の側面に更に特殊車輪を取付け、これを家屋の側面に取付けた軌条に嵌合して転動せしむると共にエレベーター枠が家屋から離脱しないように繋着せしむると同時にエレベーター枠を堅固に保持せしめこれによりて任意の屋上等に自動車又はその他の物品を運搬昇降し得るようにしたものである。

従来エレベーターは家屋の内部に該家屋と共に取付け物品その他を昇降せしむるものでこれを屋外に取付け而もその取付位置を移動し任意の場所で昇降せしむることはその例を見ない所である。殊に高層建築物についてエレベーター枠は極めて堅強でなければ崩壊歪曲して昇降器を運行すること能わざるようになる虞がある。然る近年高層建築が相ついで建築されている。

本発明はこれ等の高層建築物に於てその屋上を自動車等ガレージに簡単に利用することにつき発明せられたもので簡易に家屋の側面に簡易にエレベーター枠を設け下面と側面とに特殊な車輪を取付け、これを地上及び家屋の側面に取付けた軌条に嵌合させて枠を該家屋によらしめて離間しないように任意に軌条に従いて枠を移動し内部に昇降器を昇降せしめて自動車を容易に屋上に運上して駐車せしめ又はこれを取下すようにしたものである。

これを図面に説明すれば家屋1の側に適当に軌条2,2を敷設しこれに内部に昇降器3が昇降し得るよう適当に縦横杆4,5及び筋違い杆6,6により枠7を組立てその底面に取付けた車輪8,8を前記軌条2,2にて係合せしめ家屋1の側壁外面に軌条杆9,9を横設固定し、これに係合するよう枠7の側面に一端部が屈曲した車輪基台10を堅固に固定し該基台10の底壁中央部に斜状に取付管11を垂設

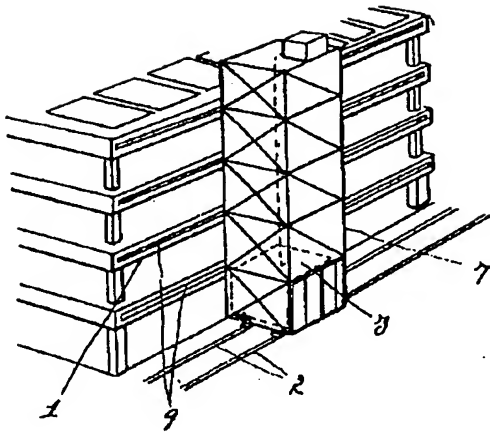
し側面をほぼ算盤の球状に形成した転動車12を基台10の下面に接着し内部に形成した段部と取付管11の根部とに相対向して受皿13,13を嵌着し該受皿13,13の間に転動ローラー14,14を介装し最に該段部の下方に設けた下段部と転動車12の下面から取付管11に貫入してネット15で締着したボルト16の下端に有する鋸板との間に下部受皿17,17を相対向して嵌入し該受皿17,17の間に小球18,18を介装し転動車12の下面に外周部が前記軌条杆9の頂部下面に係合するよう形成した底板20をボルト19,19で堅着し、而してこのような転動車12の有する前記底板20の周縁部が軌条9の上下両側から係合するよう車の基台10,10を取付けこれによりて枠7を任意の所まで移動し昇降器に自動車等を積載して上昇の屋上自動車を駐車せしめ又は駐車した自動車を積載し下降せしむるものである。

以上の如く従来の屋内昇降機の外家屋の外部に極めて簡単に軽装のは枠を組立て自由に移動せしめて屋上に昇降せしむるようにしたから段等の高層建築に於ける屋上を自動車の駐車場に使用することができる有益なる効果あるもので、而も枠は家屋の側面に取付けた軌条に堅固に係着したから軽装の枠を歪曲せしむることなく極めて強靱ならしむるの外転動は極めて軽快な転動する有益なる特徴を有する。

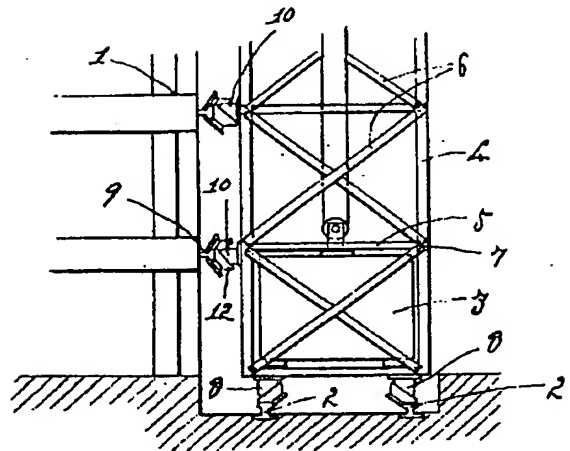
特 許 請 求 の 範 囲

1 本文所載の目的を達せんがため本文に詳記し且図面に示す如く家屋の側に軌条を敷設し適当に組立てたエレベーターの枠の下面に取付けた車輪に係合せしむると共に家屋の側面に横に軌条杆を取付固定し、これに係合する位置に於て枠の側面に下端を屈曲させた基台を取付け、これに算盤の球状に形成した転動車を転動するよう取付けた特殊車輪の下面に軌条の上面又は下面から係合するよう鋸板を取付けて軌条に嵌着し内部に昇降機を取付け、任意に枠を移動して任意の屋上に運搬するようしたことを特徴とするエレベーター枠の移動装置。

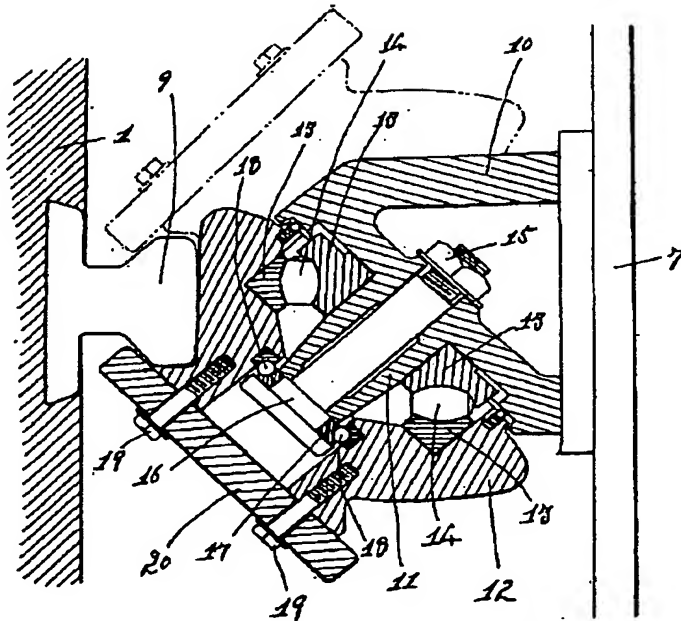
第1図



第2図



第3図



BEST AVAILABLE COPY